

とやま



県公連会報

第341号

令和3年7月27日
富山県公民館連合会
富山市舟橋北町7-1
富山県教育文化会館内
TEL・FAX(076)444-5777
E-mail tomic07@iaa.itkeeper.ne.jp



いきいき体操でみんないきいき！



コミセンがロケ地に！エキストラ初体験♪



太閤山ランドでノルディックウォーキング



ゆるキャラ誕生！

南太
↓
みなみたい
↓
みな！みたい！
↓
373たい焼き

表紙写真

いきいき・わくわくを届けたい

南太閤山コミュニティセンター

「南太閤山を元気に！」をモットーに、いきいき体操、ウォーキング教室、手作り教室等様々な体験教室を開催しています。去年はゆるキャラも誕生しました。

また、映画のロケ地となり、地域の方々がエキストラ参加した「おもいで写真」が昨年全国公開され、好奇心くすぐる貴重な体験は皆さんの素敵なお思い出になったようです。

今後もしいきいき・わくわくするような体験・学びの拠点として、地域に元気と笑顔をお届けしたいと思います。

〈本号の主な内容〉

- 2面 ● 第15回定期評議員会
 - ・会長挨拶
 - ・本年度活動目標
- 3面 ● 初任者研修会
 - ・講演概要
 - ・委嘱公民館の発表
- 4面 ● わが町の公民館活動
 - ・富山市立太田公民館
 - ・滑川市早月加積地区公民館
- 5面 ● わが町の公民館活動
 - ・小矢部市立東蟹谷公民館
 - ・入善町上原公民館
- 6面 ● 新館紹介
 - ・魚津市片貝公民館

第15回 定期評議員会開催



中西 彰 会長

5月21日(金)、第15回定期評議員会は、新型コロナウイルス感染予防対策のため、出席者を縮小して開催された。議事に先立って中西会長から2点について話があった。1点目は、ともすると目先の業務だけに流されがち

だが、年度当初の多忙が一段落したところで、公民館活動の原点について考えてほしい。その参考として、全国公民館連合会が発行している「月間公民館」の4、5月号で「やさしい公民館」という特集が組まれているので、是非活用してほしいという話だった。2点目は、全公連と県公連は、研修内容をホームページから動画配信した。また、全公連はZoomを利用した会議を実施した。こうした試みは、ポストコロナの時代が来ても役に立つ。コロナ禍の中でできることを創意工夫するという攻めの対策にも取り組んでほしいとの提案だった。

続いて来賓として出席していただいた、県教育委員会生涯学習・文化財室長吉田学氏から、「今年度も「はつらつ公民館学び支援事業」として、地域課題の解決に向けた「学び」のモデル的な活動を行う「地域振興型」として6館、子供たちのふるさとの学びや身近な自然体験活動を推進する「体験交流型」として26館、県全体で104の公民館・団体と連携して取り組んでいただく予定になっております。地域の絆づくりや活性化とともに、子供たちに郷土の特色を発信できる力を育てることができるものと確信しております。」とのご挨拶があった。

令和3年度県公民館連合会役員

顧問	鹿熊 久三(富山市)
会長	中西 彰(富山市)
副会長	中村 茂信(富山市) 高井 清高(高岡市)
	馬場 均(魚津市) 塚八 栄治(南砺市)
	岩坪智恵子(高岡市)
理事	山口 吉弘(富山市) 武埴 二郎(富山市)
	伊藤 和雄(富山市) 蒲田 幸雄(高岡市)
	岡本 昭彦(射水市) 草山 利彦(氷見市)
	永田 晋治(滑川市) 谷口 政芳(黒部市)
	境 豊志(砺波市) 大沼 宗義(小矢部市)
	酒井 務(立山町) 菅田 宣雄(朝日町)
	浜田 信治(魚津市) 林 紀世美(砺波市)
	寺林 賢司(立山町)
監事	井口 淳一(滑川市) 松下 正市(氷見市)
	笹原 健一(入善町)
事務局	本田 正則 木本 聡子

※ 議事では、地区名の変更や研修内容のネット配信を含め、全ての議案が承認された。

令和3年度活動方針

公民館は、地域の人々に最も身近な学習や交流の場として、人々の教養と生活文化の向上や福祉の充実、健康の増進、地域の安全・安心の向上等、地域社会の中で大きな役割を果たしている。しかし、近年の都市化・過疎化の進行や家族形態の変容などによる地域社会の絆の希薄化、自然災害の多発、新型コロナウイルス感染予防をはじめ、多くの課題が顕在化し、公民館の管理・運営の柔軟な対応が求められている。

このような現状を踏まえ、我々は公民館が地域社会のかけがえのない拠り所となるよう不断に自らのあり方を見直し、今日的な役割や課題、新たな要請やニーズに対応すべく、自主的・自立的、効果的な運営に一層の工夫努力を重ねていかねばならない。

本会は、このような状況を踏まえ、地域コミュニティの向上のために、関係諸団体等との連携及び公民館相互の連携を一層密にし、地域の特性を生かした公民館活動が活発に展開されるよう努める。

令和3年度活動目標

- ・公民館の発信力を高めるとともに、地域の多様な関係団体等との連携・協働、地域の様々な人材の発掘、連携・活用等を促進する。
- ・地域の特性を生かした事業やまちづくり、防災・減災、安全・安心の地域づくり、人々の自由で主体的・創造的な学習活動の充実等を通して、地域の絆を築く取組を推進する。
- ・住民が地域に誇りと愛着をもち、青少年が地域に支えられて心身の成長を遂げられるよう、異世代交流や家族ぐるみ参加により、ふるさとの自然や歴史・文化等を、五感を通して体験的に学ぶふるさと教育活動の機会を充実する。
- ・地域の活力と住民の絆の基盤が、家庭、子供たちの成長にあることに鑑み、地域で子供たちを見守り育てる環境づくりに努める。
- ・地域のニーズを掘り起こし、多様化する要請に対応できるよう公民館職員の職務に応じ専門性を高める研修を充実して資質向上に努める。
- ・公民館施設の耐震化、バリアフリー化の推進とともに、職員の常勤配置等を関係機関に働きかける。
- ・大会・研修会や公民館での学びを地域へ発信したりさらに活動の輪を広げたりするなど、学びを生かす活動を推進する。

公民館運営の在り方、地域課題・住民ニーズの把握と事業企画を考える！

令和3年度 富山県公民館初任者研修会開催



激励のことばを述べる麦谷班長

6月17日(木)、公民館初任者研修会は、新型コロナウイルス感染症予防のため参加者数を例年の50%に絞り、46名が参加して県教育文化会館で開催された。

開会に当たり、来賓として出席していただいた、県教育委員会生涯学習・文化財室家庭成人教育班長麦谷理香氏から、「公民館はこれまでも、多くの公民館職員や地域住民の努力により、住民の生活文化を向上させ、地域福祉の推進などに大いに貢献してきました。公民館は、地域や住民にとって大切な役割を果たしており、地域にとって欠かせない存在になっています。しかし、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の関係で、公民館も公民館を取り巻く環境も大きく変化し、『集う』ことを大きな役割の一つとしてきた公民館の存在意義が今、大きく危ぶまれています。このような中、初任者を対象にした研修会を通して、公民館職員の資質向上を図ることは大変有意義なことだと考えております。本日の研修では、公民館職員としての専門性を高められ、いきいきとした魅力ある地域づくりを力強くリードしていただきますようお願い申し上げます。」との激励の言葉があった。

引き続き研修に入り、黒部市立生地小学校校長森内裕之氏による「地域活性化と公民館」の講演と、令和元年度研究委嘱館の発表を通して、研修を深めた。なお、森内氏の講演と藤田館長の発表は、本会ホームページから動画配信しています。

【森内氏の講演より】

○講演要旨

1. 公民館と社会教育法
 - ・ 公民館の目的 (第20条)
 - ・ 公民館の事業 (第22条)
2. 公民館の活動と事業
 - ・ 生涯学習の拠点
 - ・ きれいで住みよい地域づくり
 - ・ 地域の融和と青少年の健全育成 等
3. 今後の公民館に求められる役割
 - ・ 住民が地域課題を解決するために必要な学習
 - ・ 学習成果を課題解決のための活動につなげる
 - ・ 地域の防災拠点 等
4. 公民館職員のメリット (エールをこめて)
 - ・ 住民と親しくなれて、本音を聞ける
 - ・ 一緒に笑えて、感動を共有できる
 - ・ 住民から感謝される 等

講演では、公民館の活動と事業は法律の裏付けがあり、地域の活性化につながり、大切な役割がある。このような活動に関わる一人として、誇りと自信をもって取り組んでほしいと話された。



講演する森内氏

【研究委嘱館の発表より】

I 「1年生になるまえになかよくなるう！」 富山市立大庄公民館館長 木下 裕功氏

1 主題について

以前より、保育所と幼稚園の交流事業を望む声があり、年長児が小学校へ入学する前に体験学習を通して交流を深め、学ぶことや体を動かすことの楽しさを知ってもらうことを目指した。



発表する木下館長

2 実践事例

おおしょう保育園と大庄幼稚園の年長児33名が参加した。体験学習には指導者を招き、ゲームや体操、英語に親しみながら交流を深めた。また、それぞれの園で活動の記録を掲示した。

3 成果と課題

最初は戸惑いながらも、新しいお友達と体験教室を通してだんだん仲良くなり、小さな課題を達成できたことが自信にもなって、春からの新生活の不安も軽減されたのではないかと思う。たくさんの体験を積み重ねて、自信をもって次のステージへ歩んでいける力になれるよう地域で支えていきたい。

II 「地域活性化事業の取組から」

小矢部市立藪波公民館館長 藤田 一彦氏

1 主題について

公民館の利用者が限られて活動が固定化している、子供たちの参加意欲が薄いという課題があり、これまでの事業の見直しを行った。



発表する藤田館長

2 実践事例

長寿会や地域の方、公民館職員で実行委員会を設立し、「健康マージャン講座」と「歴史講座」を開催した。健康マージャンは、現在サークルとして活動。歴史講座は、小中学生から年配者まで参加し、藪波郷土史の遺跡を実際に訪れ好評だった。

子供たちが活躍する活動は、「巨大シャボン玉づくり」とホテルの里を守る「川の調査会」を行っている。どちらも子供たちに役割をもたせることで、高学年から低学年の子供たちへ継承していけるように取り組んでいる。

3 成果と課題

住民の意識が高まるように、取組の継続とリーダーの発掘と育成を進める。子供たちの活動には、他団体の協力と魅力的な活動の計画が必要であると思う。

コロナ禍の中の公民館活動

富山市立太田公民館

太田地区は、地区の東側に一級河川常願寺川が流れ、北は富山市中心部に向かい広がる住宅街から、南は大山地域に接し雄大な立山連峰を背景に広がる田園地帯まで、自然を身近に感じることができ、人口約5,800人、約2,500世帯が暮らしている地区です。

当公民館は、太田小学校北隣にあり、平成26年2月に竣工しました。大会議室・中会議室・小会議室・和室・料理教室があり、サークル活動や講座等で多くの方に利用されています。

さて、昨年は新型コロナウイルスの影響で、多くの行事が中止を余儀なくされましたが、感染予防対策を取りながら、春・秋には園芸教室、夏には親子ふれあい環境美化活動等の屋外での活動を行いました。

また、7月から8月にかけての3週間、当公民館を会場に「太田っ子作品展2020」と銘打ち、太田小学校の児童が作った切り絵や粘土細工、デッサン、水墨画等の図工作品を展示し、小学生自身や保護者、地域の方々に見ていただきました。

作品展期間の中盤では、公民館正面に児童とサークル参加者等の公民館来所者が書いた短冊を飾

り付けた七夕を飾り、来館者にも楽しんでいただきました。この七夕の飾り付けも、感染予防に配慮しながら最小限の人数で児童代表者が行いました。

なお、今年度も地域の皆様と話し合いながら、感染防止対策を取りつつできる行事を実施していきたいと考えています。

コロナ禍で人と人、地域のつながりを維持することが難しい今だからこそ、「結ぶ」「学ぶ」「集う」役割をもつ公民館の存在が、これまで以上に重要であると思っています。



七夕飾り

わが町の公民館活動

滑川市早月加積地区公民館

コロナ禍でのコミュニティ活動の模索

早月加積地区は、剣岳を源とする早月川左岸に沿って海岸まで長く扇形に広がっています。近年は大企業の工場の進出は多いものの、まだまだ自然豊かな農村地帯で、世帯数は970世帯、人口は2,888人の地域です。

昔から、暴れ川の早月川の洪水から力を合わせて村を守ってきた住民には、一致団結する力が今でもしっかり宿っていて、いろいろな活動の中でそのパワーを感じます。

公民館では、これまで様々な世代を対象にした各種文化教室やスポーツ大会、郷土の踊り「新川古代神踊り」を取り入れた「納涼まつり」、地区住民の文化祭でもある「早月まつり」など、住民の皆さんに生涯学習の場やふれあいの場を提供する多くの事業を進めてきました。

残念ながら、令和2年度はコロナ禍の中で公民館活動も自粛を強いられましたが、何とか感染防止対策を取りながら実施できないかと検討しました。

その中で、家庭での自粛生活を活用した、DIYや作品づくりなどに着目して、「頑張ったものならばどんな形でも発表しよう!」のキャッチフレ

ーズのもと「ステイホーム作品展」を企画しました。連休を利用して3日間実施しましたが、小学生から年配者までの幅広い世代から多くの作品が集まり、来館者も多く、その盛況ぶりに驚きました。

コロナ禍で、社会全体が新しい生活様式を模索している状況ですが、当公民館も活動を工夫し、若い世代も参加しやすい新しいコミュニティ活動を進めていきたいものです。



ステイホーム作品展

未来を担う子供たちと 地域のみなさんで郷土愛を

小矢部市立東蟹谷公民館

東蟹谷公民館は、北陸自動車道小矢部ICから約200m、メルヘン建築の蟹谷中学校と蟹谷小学校が建つ丘陵地を下りたすぐそばの鮮やかなオレンジ色の建物です。高齢化が進む地区ではあるものの、自然豊かな環境の中、児童も集まりやすいふれあいの場となっています。

公民館では、子供たちを対象とした東蟹谷地区おやべっ子教室を開催し、自然環境や地域環境を活かした、お弁当作りや野菜植えファーム体験、花植えボランティア活動、見学会の体験ツアー、

公民館宿泊体験学習を実施しています。これらの体験を通じて、よりよい人間関係を築きつつ、集団生活の中で子供たちに規律・協力・助け合いの心を育てています。

また、当地区の各種団体との共催により多くの住民が関わる三世代交流会を開催し、料理体験学習や工作学習、ゲーム体験交流を行うなど、小さな子供からお年寄りまでの幅広い地域住民が、笑いあって毎回賑やかにコミュニケーションをとっています。

公民館まつりは、新型コロナウイルス感染予防対策のため前回は中止となりましたが、今年開催を信じてサークル教室・同好会等の12団体が、日頃の練習成果を披露しようと日々の活動に励んでいるところです。

地区の恵まれた自然や地域環境を活かし、子供からお年寄りまでの幅広い地域住民が、交流により地域が一体となって郷土の豊かさに気づき、「郷土愛」を育てていけることを望んでいます。これからも地域の皆様方と共に、安全で楽しい公民館を目指し、様々な活動を推進していきたいと思えます。



ものづくりを通じた三世代交流会

わが町の公民館活動

入善町上原公民館

三世代交流の拠点となる 公民館を目指して

上原公民館は、旧上原小学校跡地に建ち、芥川賞作家の柏原兵三さんの小説「長い道」に出てくる道に面しています。また、当地区は、東側を見上げると朝日岳や白馬岳、南側には僧ヶ岳の山々がその勇姿を見せ、北側には国の天然記念物に指定されている杉沢の沢スギを見ることができる自然豊かなところです。


当公民館では普段の活動として、卓球や大正琴、パソコン教室、囲碁など各サークル活動団体が、日々、活発に活動しており、特に入善町発祥のスポーツであるウォークベースボールのサークル活動では、若々しい爺っちゃん婆っちゃん達が元気なかけ声を館内中に響かせています。親子が集まる活動としては、小学生を対象としたホタル観賞会やクッキング教室、ふれあいスポーツカーニバルなどを実施しています。どの世代も元気な我が地区では、季節ごとに三世代交流を目的とした活動も盛んに実施しています。その中でも、爺っちゃん、婆っちゃんが子供や孫とチームを組み、力を合わせて優勝を目指すウォークベースボ

ール大会は、毎年大いに盛り上がっています。

当公民館は、こうした活気ある活動を通して、子供から年配の方まで一堂に会するふれあいの場として成果を上げ、地域コミュニティーの活動の場として欠かせない、地域の中心的な場所になっています。今後も、当公民館がさらなるふれあいの場の拠点となり、幅広い年代が参加できるように地区の方々や各種団体の皆さんと協力しながら様々な活動を展開していきたいです。



ウォークベースボール大会



新館紹介

魚津市片貝公民館 (魚津市片貝コミュニティセンター)

魚津市片貝地区は、魚津市街地から車で約15分と大変利便性がよく、毛勝三山を源流とする片貝川の清流沿いに位置しており、さわやかな新緑・美しく染まる紅葉・そして冬景色と四季を通して豊かな自然を満喫できる中山間地域です。12の自治会、330世帯、約1000名を対象に公民館活動をしています。

平成28年3月に旧片貝小学校が廃校となり、その跡地へ片貝公民館が移転し活動を開始しました。その後、令和元年度に片貝地区ならではの体験や、さらには宿泊もできる施設として各種改修を行い整備しました。

公民館主催事業として、地域異世代交流事業・公民講座・高齢者学級・土曜教室・放課後子ども教室があります。

地域異世代交流事業では、片貝ならではの大自然を満喫できるクロスカントリーの集いが毎年恒例のイベントで、小学校が統合してからは他地区からもたくさん参加されます。近くのキャンプ場付近をクロスカントリースキーで散策してたっぷり運動した後、公民館に戻ってしし鍋や豚汁で体を温めます。また、バスに乗って市外に出かける社会科見学や、健康ウォーキングなども行います。公民講座では、冬に行われる自家製味噌作り教室が大人気の行事で、たくさんの方がこの行事を楽しみにして参加しています。定期的に手芸教室も行い、地域のお母さん方のよい交流の場となっています。高齢者学級は、高齢者ができる簡単な運動（ボッチャやペタンクなど）、多方面の知識を深めるための講演会などを開催しています。土曜教室・放課後子ども教室では、お茶・手作り・ペン字などのサークル活動、川遊びや雪遊びなどの自然体験ができる活動をメインに、地域の子供たちと保護者やボランティアの方々が共に楽しめる内容となっており、放課後や土曜日に子供たちが安心して過ごせる居場所となっています。

今後も片貝公民館は、地域の拠点として生涯学習の活動の推進・地域事業や伝統文化の継承・子供の育成等を行うとともに、地域住民の皆さんが世代を超えて交流できる場、人と人がつながり絆を深める場として、片貝地区の活性化につなげたいと思います。



クロスカントリーの集い



公民講座 自家製味噌作り



高齢者学級で勉強中



片貝公民館全景



お茶教室でお点前の練習

おめでとうございます！ 受賞公民館を紹介します

◇令和3年度「県民ふるさと大賞」

・上市町立柿沢公民館